

「道路及び河川等維持管理統合業務委託」受託者の特定について（公募型プロポーザル方式）

令和8(2026)年9月29日
栃木県安足土木事務所

道路及び河川等維持管理統合業務委託における受託者の選定にあたり、公募型プロポーザル方式により、下記のとおり実施しました。

1 特定された受託者
安蘇建設業協同組合

2 受託者の選定及び特定の方法について

受託者の選定及び特定にあたっては、参加表明書の評価（第1次審査）及び業務提案書の評価（第2次審査）により、「道路及び河川等維持管理統合業務委託における受託者選定委員会」（以下「選定委員会」という。）において審議し、安足土木事務所建設工事等請負業者指名選考委員会（以下「選考委員会」という。）の承認を受け決定しました。

評価項目・判断基準及び評価のウェイトについては、別表「道路及び河川等維持管理統合業務委託業務提案書の特定 評価総括表」のとおりです。

選定委員会名簿

	所属・役職等
委員長	栃木県安足土木事務所次長兼企画調査部長
副委員長	栃木県安足土木事務所次長兼保全第二部長
委員	栃木県県土整備部河川課課長補佐（総括）
委員	栃木県安足土木事務所整備部長
委員	栃木県安足土木事務所企画調査課長

3 経過

(1) 公告・説明書配布

令和8(2026)年7月3日からプロポーザル手続開始の公告及び説明書の配布を行いました。

(2) 参加表明書の提出者について

安蘇建設業協同組合から参加表明書の提出がありました。

(3) 業務提案書の提出者の選定について

選定委員会において業務提案書の提出者を選定しました。入札参加資格要件の全てを満たしていることを選定基準とし、令和8(2026)年7月23日に業務提案書の提出者に選定した旨通知しました。

(4) 業務提案書の提出について

選定者から業務提案書が提出されました。

(5) 業務提案書の評価・特定について

令和8(2026)年8月7日の選定委員会において、業務提案書の提出業者からヒアリングを実施し評価を行い、安蘇建設業協同組合の業務提案書を特定しました。なお、業務提案書の評価内容については、別表「道路及び河川等維持管理統合業務委託 業務提案書の特定 評価総括表」のとおりです。

その後、選考委員会の承認を受け、令和8(2026)年8月21日に特定した旨通知しました。

なお、特定理由については、業務提案書における課題に対して的確性や実現性が高いと判断されたためです。

4 業務委託契約の締結について

令和8（2026）年9月11日に安蘇建設業協同組合から見積書が提出され、同日付で契約の相手方として決定し、令和8（2026）年9月28日に契約金額155,540,000円で契約を締結しました。

道路及び河川等維持管理統合業務委託 業務提案書の特定 評価総括表

業 者 名		安蘇建設業協同組合			
		評 価 基 準		評価結果	評点
		評価区分	評価点		
主任技術者の業務経歴	過去 15 年間の道路維持管理業務、河川砂防施設維持管理業務又は統合委託の実績	・経験あり	20	20	20
		・経験なし	0		
事業者の業務経歴	過去 15 年間の道路維持管理業務、河川砂防施設維持管理業務又は統合委託の受注実績	・安足土木事務所管内（佐野市）における道路維持管理業務、河川砂防施設維持管理業務又は統合業務の受注実績が合わせて2件以上	20	20	20
		・栃木県内における道路維持管理業務、河川砂防施設維持管理業務又は統合業務の受注実績が合わせて2件以上	10		
		・上記以外	0		
業務の実施方針及び手法（特定テーマに対する提案）	「テーマⅠ」 異常気象時対応における初動体制の確立に関する提案	・初動体制確立における理解度及び留意点の的確性、並びに日常からの事前準備	5	20	4.0
		・気象状況等を考慮した冠水対策（道路アンダー冠水等）の留意点の的確性	5		3.6
		・災害時（異常水質発生時を含む）における速やかな初動体制確立及び関係機関への速やかな情報提供	10		8.0
	「テーマⅡ」 道路、河川砂防等における困窮対策に関する提案	・地域特性を考慮した緊急対応について	5	20	3.8
		・夜間休日における人員確保について	5		3.6
		・現道上の倒木・土砂流出等及び河川砂防の堤防の欠損・越水等の発生時における緊急対策について	10		8.0
	「テーマⅢ」 安全対策の徹底及び効率的な維持管理に関する提案	・「重点安全対策5項目」の具体的な安全対策及び危険要因の排除の提案と実現性	5	20	4.0
		・安全対策の徹底やコスト縮減などの効率的な維持管理等のための既存設備を有効利用しながらデジタル技術を活用する提案と実現性	5		4.0
		・作業班の適切な業務体制の確保や作業指示等への臨機応変な対応の実現性	10		7.6
合 計				100	86.6